

特別講演

Program

10/1 木

※時間未定



芝浦工業大学名誉教授
一般社団法人 日本建築ドローン協会会長

本橋 健司 先生

ドローンを利用した外壁調査と これからの外壁改修技術

建築物の長寿命化を図るためには、外壁の劣化を正しく診断したうえで、長期的な修繕周期が期待できる外壁改修工法を適用することが重要である。このような背景から、外壁改修技術に関する活発な開発が進められている。ここでは、ドローンと赤外線調査を活用した外壁調査において、効率性と正確性を両立させるためのポイントを解説する。さらに、修繕周期の長期化が期待できる外壁複合改修工法についても紹介する。



近畿大学工学部建築学科
教授

松本 慎也 先生

今治ラヂウム温泉本館を 次世代へつなぐ

- 歴史的建造物の価値を守る調査・診断と補修 -

本講演では、今治ラヂウム温泉本館の歴史と建築的特徴、増改築の経緯および過去の地震を経た現状を紹介し、あわせて、3次元計測や振動計測による調査結果を紹介し、増築部の経年劣化に対する応急延命措置と建物の保存・活用に向けた取り組みについて説明をします。

10/2 金

※時間未定



国立研究開発法人建築研究所
理事長

福山 洋 先生

社会情勢の変化に対応する 建築構造技術のこれから

人口減少や気候変動など社会情勢が大きく変化する中、それらに対応して建築や都市の在り方にも大きな変革が求められてきている。例えば、「新築中心から既存ストックを適切に“使いこなす”時代への転換」や「DXを活用した生産性や質の向上」など。このような背景を踏まえ、これからの建築構造技術の在り方について考えていきたい。



名古屋大学名誉教授
あいち・なごや強靱化共創センター長

福和 伸夫 先生

南海トラフ地震対策と防災庁

南海トラフ地震は西日本広域を襲い、国民の半数が被災する恐れがある。このため、過去の地震は、歴史の転換期と重なってきた。しかし、過去の日本は自律・分散型の社会だったため、常に地震を乗り越え、よりよい時代を作ることに成功してきた。残念ながら、現代社会は少子高齢化と一極集中で厳しい状況にある。過去に学び、震災を乗り越える術を考えたい。



コンステック

建設環境コンサルティング グランテック
コーナンシステムズ パウエンジニアリング



VRサイトで
昨年の様子を
チェック！



テクノロジー 2025